

2009年12月18日

ノンポイント汚染研究委員会の皆様

ノンポイント汚染研究委員会  
委員長 國松孝男

### JWETへの論文投稿のご案内

日頃お世話になっています。

日本水環境学会第12回シンポジウムには多数ご参加頂きありがとうございました。皆様のおかげで大変盛況な場となり増したことをご報告すると共に、改めてお礼申し上げます。

さて、ノンポイント汚染研究委員会では、日本水環境学会のE-ジャーナル (*JWET: Journal of Water and Environment Technology*) へのノンポイント汚染研究論文の集中的投稿企画を行います。

つきましては、皆様には下記の要領により積極的に投稿して頂きますようご案内致します。

#### 1. 主旨

ノンポイント汚染研究委員会は、IWAのスペシャリストグループであるDiffuse Pollution、Watershed and River Basin Management、およびUrban Drainageと積極的に連携し研究発表を行っています。このうち、Diffuse Pollution国際会議(ICDP:International Conference on Diffuse Pollution)については、一昨年(2007)の第11回ICDP国際会議はベロオリゾンチ(ブラジル)で、昨年の第12回ICDP国際会議はコンケン(タイ)で、今回の第13回ICDP国際会議はソウル(韓国)開催され、多くのメンバーによる口頭およびポスター発表が行われました。

昨年度においては、第11回と第12回のICDP国際会議に発表された論文を中心に、これらに加えてノンポイント汚染研究委員会メンバーから新たな論文を受け付け、ノンポイント汚染に関わる論文を集中的にJWETに投稿するという企画を実施しました。投稿数は15編あり、受理:10件、不受理:4件、辞退:1件で採択率は67%となりました。投稿頂いた方、および査読者の皆様にはお礼申し上げます。なお、査読にご協力頂いた方の氏名はリストとして以下に示しました。

第13回ICDPの発表論文の取扱について現地実行委員会に問い合わせをしたところ、WS&T誌、DWT誌およびJES誌の三誌を対象としたselectionが行われるとの回答がありました。既にWS&T誌はselectionが終了し11月に該当の著者に連絡済み、DWT誌およびJES誌については2~3日以内に該当者に連絡があるようです。日本からの発表論文については約10編のみが選ばれたとのことです。

そこで昨年度に引き続いて、今年度についてもJWET誌のノンポイント汚染研究委員会責任編集(ゲストエディターは國松孝男委員長)を行うこととし、原則として第13回ICDP国際会議に発表された論文を中心に、第11回と第12回のICDP国際会議、および2009年9月に東京大学で開催されました第8回UDM(都市雨水排水モデリング)国際会議の発表論文を中心としたノンポイント汚染に関わる論文を集中的に受け付けることに致しました。

#### 2. 投稿論文の責任編集・査読の方法

(1) JWETのOriginal Paperとして受付をします。

(2) 投稿論文の編集・査読は、ノンポイント汚染研究委員会に編集・査読委員会を置き、委員会と

して責任編集・査読を行います。

- (3) 編集・査読委員会は、國松孝男（委員長、滋賀県立大学）、井上隆信（農地林地部会長、豊橋技術科学大学）、古米弘明（都市流域部会長、東京大学）、藤井滋穂（国際活動担当、京都大学）、山田俊郎（HP 担当、国立保健医療科学院）、駒井幸雄（幹事、大阪工業大学）の6名で構成し、必要に応じて追加をいたします。
- (4) 投稿論文の査読は、委員会メンバー1名を担当者として、部会メンバーや外部メンバーからなる計2名の査読者により、JWETの査読方法に基づいて行います。
- (5) 査読とのやりとりは投稿者と査読者が日本人の場合は、原則として日本語で行います。

#### 【2009年度査読者リスト】

浅枝隆、市木敦之、梅本諭、江成敬次郎、海老瀬潜一、大久保卓也、金子真司、河原長美、城戸由能、国包章一、國松孝男、栗栖聖、黒田久雄、駒井幸雄、佐藤祐一、白谷栄作、新矢将尚、武田育朗、田中周平、中島典之、永淵修、西村文武、治多伸介、藤原拓、増田貴則、松本嘉孝、村上道夫、和田桂子、山田俊郎、山本浩一、Binaya Raj SHIVAKOTI、NPH Lien

#### 3. 投稿方法

- (1) ページ制限はありませんが6-20pを目安にしてください。
- (2) 投稿論文は添付のJWET所定の書式に記入するようにして作成してください。
- (3) カラーも可能です。
- (4) Guidelines for Authors および Sample paper は、日本水環境学会 HP の [J. of Water Environment Technology](#) をご覧ください。
- (5) 完成論文は WORD ファイルとしてメールの添付ファイルによりノンポイント汚染研究委員会編集・査読委員会事務局（駒井および山田）まで下記のスケジュールにあわせてお送りください。

#### 4. スケジュール

- (1) 締め切り：2010年2月末日  
査読期間：受付後～3ヶ月以内  
JWET 部会への送付：受理後1週間以内  
発行：2010年3月号、2010年6月号（いずれも予定）

#### 5. 送り先(e-mail)

恐れ入りますが、下記の両方のアドレスにお送りください。

[komai@env.oit.ac.jp](mailto:komai@env.oit.ac.jp)

[ynd@gifu-u.ac.jp](mailto:ynd@gifu-u.ac.jp) (2010年4月～)